

京都府仏教連合会 平成30年度仏教講演会

演題

寺院庭園の魅力について

講師

加藤友規氏 (植彌加藤造園株式会社代表取締役社長)

日時

平成30年11月20日(火)

14:00~15:00(受付13:00)

会場

総本山智積院 真言宗智山派宗務庁 3階大講堂
(京都市東山区東瓦町964)

アクセス 京阪電車「七条駅」より徒歩10分／市バス「東山七条」下車

定員

120名(先着)入場無料

※定員を超えた場合は、ご入場いただけない場合がございます。予めご了承下さい。

【講演要旨】

1200年を超える歴史の中で発展を遂げた日本の古都 京都は、国の特別名勝庭園の2分の1以上が集中する世界屈指の庭園都市である。古来より京都の寺院に造営された庭園は現在まで受け継がれ、史跡名勝としてその価値が認められるものが数多くある。

一口に寺院庭園と言っても時代背景や作庭者の意図によりその様式は多様である。自然への敬意を底流にしながらも、時代や場所、地形に応じて、庭園固有の価値を形成してきたその姿を、分かりやすい事例を挙げて解説する。

また、今日の京都を取り巻く国際的な観光事情や次代へ継承するための取り組みなど、庭師の日常からの視点も交えて、聴講者の皆様には寺院庭園の魅力についてより理解を深めていただきたい。



プロフィール

170年つづく京都老舗の造園会社、植彌加藤造園株式会社の8代目代表取締役社長。幼少期から家業で働く庭師たちの姿を目にし、日本庭園のエッセンスを自然と身につける。

千葉大学園芸学部卒業後、家業に入り2005年より現職。日本庭園の文化を継承しつつ、最高の技術と感性で新しい伝統を創造する、粋なプロの職人集団を目指し、造園の現場、研究、経営の三位一体に取り組んでいる。

後進の育成をライフワークと捉え、京都造形芸術大学教授として日本庭園分野の実践的な教育に情熱を注いでいる。また、海外での日本庭園の作庭と管理の指導や、北米日本庭園協会のカンファレンスにおける基調講演など、京都の庭師の心と技を伝承する活動も行っている。

問合せ先

総本山智積院内 京都府仏教連合会事務総局
TEL 075-541-5361 FAX075-541-5364